



2025 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 R E V O L U T I O N
代表者の 代表取締役社長 砂川 優太郎
役職氏名 (コード番号 8894 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 C F O 齋藤 洋佑
電話番号 0 3 - 6 6 2 7 - 3 4 8 7

業績予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 3 月 14 日の 2025 年 10 月期第 1 四半期決算発表時に開示した 2025 年 10 月期第 2 四半期累計期間の業績予想及び 2025 年 10 月期通期業績予想をそれぞれ修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2025 年 10 月期第 2 四半期累計期間（2024 年 11 月 1 日～2025 年 4 月 30 日）の業績予想の修正

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	20,441	△598	△731	△756	△10.96
今回修正予想（B）	12,988	△4,026	△4,323	△2,596	△37.63
増減額（B－A）	△7,453	△3,428	△3,592	△1,840	—
増減率（％）	△36.5	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2024 年 10 月期第 2 四半期）	400	△189	△193	△196	△0.30

2. 2025 年 10 月期通期（2024 年 11 月 1 日～2025 年 10 月 31 日）の業績予想の修正

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	51,472	42	△787	△984	△14.27
今回修正予想（B）	35,718	△3,639	△3,959	△3,112	△45.09
増減額（B－A）	△15,754	△3,681	△3,172	△2,128	—
増減率（％）	△30.6	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2024 年 10 月期）	5,566	333	331	296	4.29

3. 修正の理由

2025年3月27日付「当社連結子会社 WeCapital 株式会社グループの業績計画見直しに関するお知らせ」で公表しましたとおり、WeCapital 株式会社グループの業績計画の見直しに伴うものであります。具体的には、WeCapital 株式会社グループにおけるクラウドファンディングの組成プロセスを厳格化したことに伴い当初想定していた案件数を取扱うことが難しくなったことが主な見直し理由となります。

なお、2025年10月期上半期（2024年11月1日～2025年4月30日）の業績予想の修正の今回予想値における経常利益と親会社株主に帰属する中間純利益の差額は、本年3月14日付開示資料「貸倒引当金繰入額、支払手数料及び匿名組合損益分配額計上に関するお知らせ」にてお知らせした、2025年10月期第1四半連結累計期間における当社連結子会社の WeCapital 株式会社及びその子会社における匿名組合損益分配額 1,543 百万円等の計上（以下「本要因」といいます。）によるものが主な要因となります。本要因には主に当社連結子会社のヤマワケエステート株式会社における販売用不動産の評価損 1,986 百万円が含まれております。

加えて、2025年10月期下半期（2025年5月1日～2025年10月31日）の経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益の差額が同期上半期（2024年11月1日～2025年4月30日）と比べ減少しているのは下半期には多額の販売用不動産の評価損の計上見込みがなく、本要因ほどの多額の匿名組合損益分配額の計上を見込んでいないためとなります。

また、WeCapital 株式会社グループの業績計画の見直しの結果、WeCapital 株式会社グループ等に関するのれん（2025年10月期第1四半期末時点で 15,739 百万円）の再評価を検討しており、改めて業績予想の修正等をお知らせする可能性があります。

4. 当社連結子会社 WeCapital 株式会社グループの 2025 年 9 月期の業績計画の修正

当社は、2025年3月14日付開示資料「2025年10月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にてクラウドファンディング事業における業績予測等を以下の修正前の表のように公表しておりました。今回 2025年3月27日付開示資料「当社連結子会社 WeCapital 株式会社グループの業績計画見直しに関するお知らせ」の記載の通り、業績計画を見直ししております。

現在は、当社連結子会社ヤマワケエステート株式会社のファンド組成検討時における検討フローの見直しを実施し、最終的なファンドからの売却可能額の査定についての助言を当社の不動産事業から行いファンド組成時の不動産取得の基準を厳格化しております（表中、修正箇所は下線部分となります）。

（修正前）

	案件数 計画値① (件)	案件数 実績値② (件)	②－① (件)	売上高 計画値③ (百万円)	売上高 実績値④ (百万円)	④－③ (百万円)
第1四半期	45	47	+2	5,356	6,020	+664
第2四半期	<u>69</u>	-	-	<u>12,628</u>	-	-
第3四半期	<u>78</u>	-	-	<u>8,964</u>	-	-
第4四半期	<u>81</u>	-	-	<u>18,272</u>	-	-
通期合計	<u>273</u>	-	-	<u>45,224</u>	-	-

(修正後)

	案件数 計画値① (件)	案件数 実績値② (件)	②－① (件)	売上高 計画値③ (百万円)	売上高 実績値④ (百万円)	④－③ (百万円)
第1四半期	45	47	+2	5,356	6,020	+664
第2四半期	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>0</u>	<u>6,075</u>	-	-
第3四半期	<u>13</u>	-	-	<u>5,348</u>	-	-
第4四半期	<u>30</u>	-	-	<u>11,967</u>	-	-
通期合計	<u>120</u>	-	-	<u>29,411</u>	-	-

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上